

「合志のうまかもん店」市外も登録 熊本市の飲食店

合志市の地域ブランド推進協議会（会長・藤井勝公副市長）は25日、市産食材を使う飲食店「合志のうまかもん店」に、新たに2店を登録した。「うまかもん店」は計17店となり、今回初めて合志市以外の飲食店が含まれた。

同協議会は同市のイメージ向上などを目的に2011年から登録制度を開始。今回市外の店舗からの申請があったため、合志市のPRに熱心な店舗に限り、登録を認めるよう要綱を変更した。

登録を受けたのは熊本市下通の飲食店「よつぼし」。同市須屋の栗崎和彦さん（40）が昨年10月にオープン。合志市産の野菜を9割使い、卵や焼酎なども同市産。4年前に熊本市から合志市へ転居した栗崎さんは「うまい野菜が多い。地産地消をこれから進めたい」と話す。

同市須屋でアレルギーに配慮したクッキーなどを販売する焼き菓子店「母野思」も登録された。

（林田賢一郎）



「合志のうまかもん店」に登録した「よつぼし」の栗崎和彦さん（右）、「母野思」の林那美さん＝合志市